

稲作農家 各位

山武稲作情報 第4報

(2025年6月30日発行)



山武農業事務所 改良普及課

TEL: 0475-54-0226

FAX: 0475-52-7914

山武地域の生育状況

6月後半は晴天が続き、高温・多照で推移しました。現在、山武地域の水稻の草丈は平年並み～やや多に推移しています。茎数に関しては、「ふさこがね」「アキヒカリ」は、平年と比較して生育量が多く、その他の品種は平年と比較して7～8割程度と少なく推移しています。葉色は「コシヒカリ」を除いて平年並みとなりました。「ふさおとめ」や「ふさこがね」は幼穂形成期が平年よりも遅れましたが、「コシヒカリ」は平年並みとなりました。今後も、気温は平年と比較して、高く推移する見込みです。暑さにより発生が助長される紋枯病の発生や、出穂期の早まり等に注意しましょう。

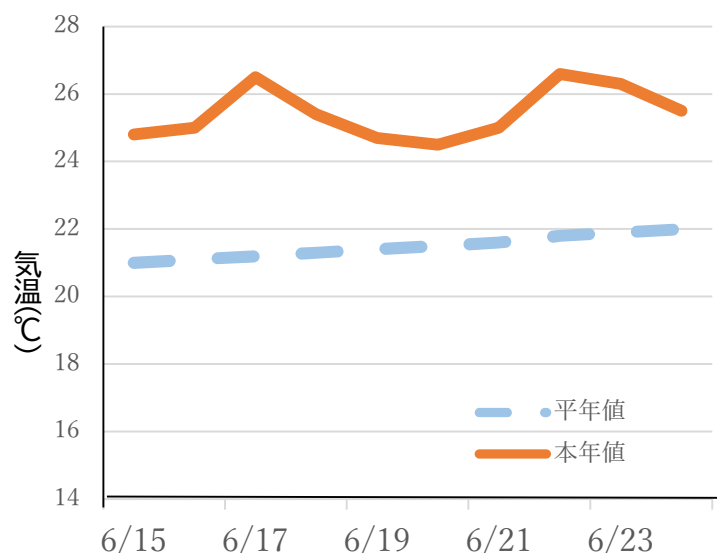


図1 日平均気温の推移(アメダス、横芝光)

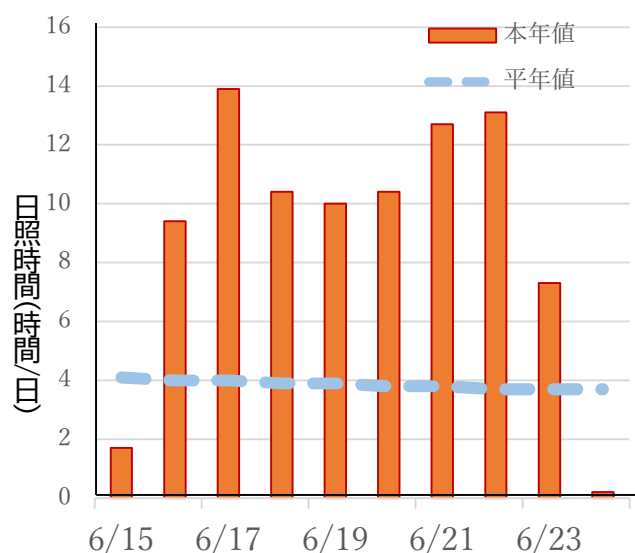


図2 日照時間の推移(アメダス、横芝光)

出穂期予測(6月25日現在)*

移植日	品種				
	コシヒカリ	ふさこがね	ふさおとめ	粒すけ	アキヒカリ
4/20	7/17	7/9	7/8	7/16	7/6
5/1	7/23	7/15	7/14	7/23	7/12
5/15	7/30	7/23	7/21	7/31	7/20

*予測日は水稻生育予測システム「でるた™」(運用試験版)を用いて予測しています(アメダス横芝光)。移植時の苗の葉齢、活着状況、ほ場の気象条件、予測日以降の気象条件により誤差がある場合があります。

◇カメムシの発生に応じた防除を実施しましょう

6月24日に発表された気象庁の3か月予報(東日本)によると、7～9月の気温は「高い」と予報されており、斑点米カメムシ類の増殖や水田侵入後の加害活動の活発化に注意が必要です。防除適期はカメムシの種類によって異なりますので、図を参考に防除を行いましょう。特に、出穂が周辺より早いものや遅いものは集中的に被害を受けることがあるので、注意が必要です。また、カメムシの発生は周辺田にも影響するため、主食用米・飼料用米いずれも適期に防除しましょう。

イネカメムシ

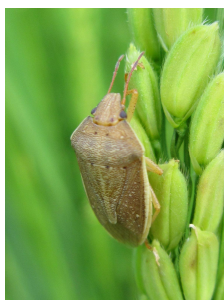


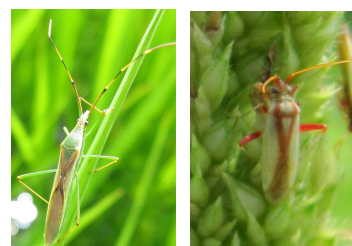
写真 イネカメムシ成虫



写真 基部斑点米の被害の発生した玄米¹⁾

近年発生数が増加傾向にある斑点米カメムシ類の一種です。出穂直後に加害されると不稔粳が発生し、乳熟期以降に加害されると不稔や基部斑点米となります。大型のカメムシで吸汁能力が高く、特に不稔による減収被害が発生しやすいのが特徴です。減収や玄米品質低下を防止するために、①成虫が侵入する時期(出穂期)と、③出穂期15日後頃(乳熟期)に薬剤散布を行いましょう。

その他斑点米カメムシ類



写真(左)クモヘリカメムシ成虫
写真(右)カスミカメムシ成虫

これらの斑点米カメムシ類は、雑草地等で増殖した後、イネの穂が出ると飛来して加害します。加害箇所はカメムシの種類によって異なります。防除適期は②出穂期3日後頃(穂揃期)と③乳熟期です。

1) 千葉県農林水産部担い手支援課 HP(<https://www.pref.chiba.lg.jp/ninaite/network/field-r5/sui-2023-06.html>)より引用

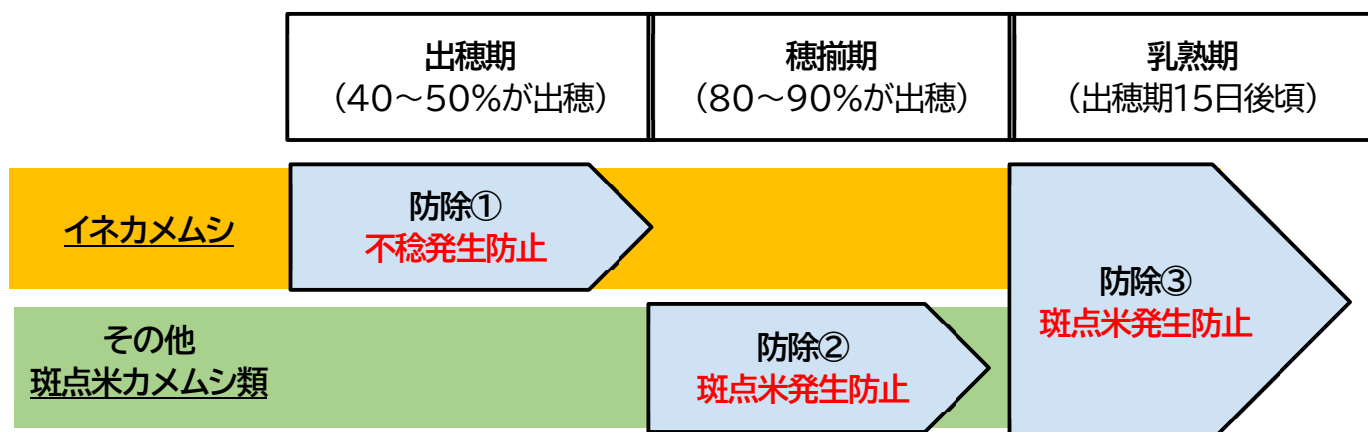


図 斑点米カメムシ類の発生に応じた防除時期

生育調査結果(幼穂形成期現在)

*本年値の()内は平年値との差を示しています。 *葉色の CS はカラスケールになります。

コシヒカリ(東金市)

移植日	年次	草丈(cm)	茎数(本/㎡)	葉齢	葉色(CS*値)	幼穂形成期
4/26	本年	64.0(100%)	320.9(72%)	12.1(110%)	3.9(88%)	6/25
4/28	前年	63.0	522.7	11.1	3.9	6/26

ふさこがね(山武市)

移植日	年次	草丈(cm)	茎数(本/㎡)	葉齢	葉色(CS*値)	幼穂形成期
5/3	本年	63.0(106%)	536.8(103%)	11.4(108%)	5.2(102%)	6/21
5/3	前年	61.1	509.1	10.4	4.9	6/21

ふさおとめ(山武市)

移植日	年次	草丈(cm)	茎数(本/㎡)	葉齢	葉色(CS*値)	幼穂形成期
5/2	本年	55.9(109%)	455.7(84%)	12.0(107%)	5.1(104%)	6/22
4/30	前年	50.0	640.3	11.2	4.5	6/18

アキヒカリ(山武市)

移植日	年次	草丈(cm)	茎数(本/㎡)	葉齢	葉色(CS*値)	幼穂形成期
4/23	本年	55.8(105%)	667.3(118%)	10.1(100%)	5.5(106%)	6/16
4/25	前年	51.3	567.3	10.1	4.4	6/14

千葉県水稻温暖化対策研究室 成東育成地による生育調査結果(6月 25 日現在)

*本年値の()内は平年値(「コシヒカリ」「ふさこがね」「ふさおとめ」は過去 10 年、4月移植「粒すけ」は過去6年、5月移植「粒すけ」は過去5年)との差を示しています。

品種・移植日	年次	草丈(cm)	茎数(本/㎡)	葉齢	葉色(CS*値)	幼穂形成期
コシヒカリ	本年	68.0(111%)	398.5(77%)	10.4(99%)	4.4(103%)	6/22
4/25移植	前年	65.3	515.5	11.0	4.0	6/22
ふさこがね	本年	59.1(115%)	436.0(76%)	10.6(97%)	5.1(102%)	6/21
4/25移植	前年	48.9	522.2	9.9	5.1	6/16
ふさおとめ	本年	53.2(107%)	444.3(78%)	10.5(100%)	4.8(100%)	6/18
4/25移植	前年	50.0	511.5	10.6	5.1	6/14
粒すけ	本年	61.1(104%)	437.7(80%)	11.8(104%)	4.7(106%)	6/22
4/25移植	前年	60.5	564.6	11.3	4.1	6/22
粒すけ	本年	48.4(96%)	457.6(92%)	10.7(106%)	4.9(94%)	未形成
5/15移植	前年	53.2	505.1	10.7	5.5	7/2